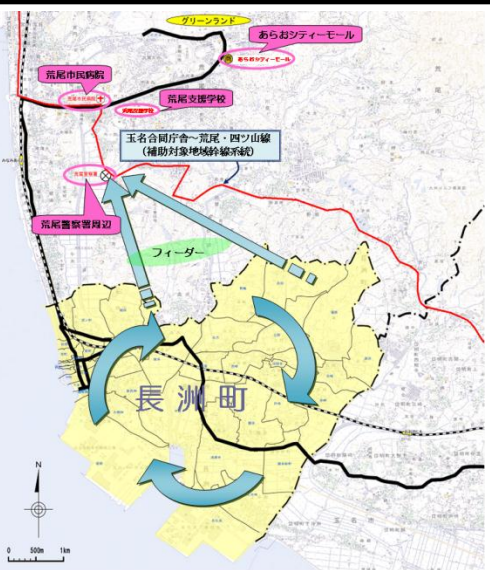


概要



【愛称】きんぎょタクシー

金魚は長洲町のシンボルであり、この予約型乗合タクシーが今後長洲町のシンボルになるようにと、町民の方からの期待が込められて名付けられた。

【運行主体】有限会社 長洲タクシー

平成22年度地域公共交通活性化・再生総合事業費補助金を活用し、長洲町の地域公共交通について長洲・荒尾地域公共交通活性化協議会において検討する。その結果町内を運行する路線バス2路線に対する補助を廃止し、その財源を基に新たに平成23年10月3日よりフルデマンド型の長洲町予約型乗合タクシー(愛称:きんぎょタクシー)を運行することとした。

きんぎょタクシーは、高齢者等の交通弱者の移動を優先的に確保するために導入された交通手段であり、導入以降、多くの方が利用され、生活に欠かすことのできない交通手段として機能している。

きんぎょタクシーは、今後も住民にとって重要な交通手段であるため、地域公共交通確保維持事業により生活交通を存続させていくことが必要である。

基礎データ

- 人口: 16,676人 (平成25年1月末現在)
- 面積: 19.44平方キロメートル
- 高齢化率: 27.7%
- 補助対象の系統数: 1系統(確保維持事業のみ)
- 自治体負担額: 7,328千円(H23.10.3~H24.9.28)
- 協議会開催数: 協議会2回

計画、目標(Plan)

人口減少や自動車社会の到来に伴い、長洲町における公共交通利用者は急激に減少し、公共交通を維持していくことが困難な状況にある。その一方で、少子高齢化は急激に進展しており、今後の地域公共交通のあり方が問われる状況にもなっている。

このような状況の中、平成23年3月に「長洲・荒尾地域公共交通総合連携計画」を策定。この計画では財政負担の維持抑制に配慮しながら、地域公共交通の利便性を向上し、誰もが気軽に移動できる公共交通の整備を図ることとしている。

また、この計画は、『みんなの力で、夢・希望・活力・安全・安心のあるまち』を将来像とする第5次長洲町総合振興計画に基づき策定している。

ネットワーク計画等の取組み(Do)

生活交通ネットワーク計画どおり、長洲町予約型乗合タクシー(愛称:きんぎょタクシー)を運行することにより、高齢者等の日常生活に必要な移動手段の確保を図った。

実施状況、目標の達成(Check)

地域公共交通体系の見直しによる利用者数の増加

目標 8,000人(H22) ⇒ 10,000人(H27)
実績 5,697人(10月~2月)【1年間の見込み 14,000人】

地域公共交通体系の見直しによる財政負担額の維持・抑制

目標 15,133千円(H22) ⇒ 15,000千円以内での運行
実績 H24年度が7,328千円で運行しており、H25年度も同額程度の見込み。

今後の課題、対応(Action)

数値目標の達成状況からも、現状の運行に関しては順調に推移している。しかし、当初予定を上回る利用状況にあり、時間帯によって利用できない日も生じてきているため、今後、利用者の状況を観察しながら増車についても検討していく。また、その際の財政負担についても、目標額に注意しつつ導入を検討していく。

※PDCAを記入する際、枠が足りない場合は、次頁に作成することも可能です。